

## 具体的な日本語教育プログラム例(記述様式案)

○標準的なカリキュラム案は学習者の状況や地域の実情に応じて、工夫を加えることが期待される。ここでは以下の例を取り上げて、学習者の状況、地域の実情に応じた工夫の例示を行う。

例1	例2	例3
 Aさん	 Bさん	 Cさん
日系人	国際結婚で来日	技能実習生
外国人コミュニティーで生活	農村地域	地域社会との接点が限られている

# 例1) 日系人のAさんの場合

## 1 域内の外国人の状況・ニーズ、地域の資源等の把握

### (1) 対象とする学習者の属性や数の把握

- ・レディネス(日本語学習をどの程度行っているか)
  - 来日3か月で日本語学習経験はなし
- ・漢字圏かどうか
  - 非漢字圏
- ・学習適性(過去の言語学習経験等)
  - 英語(あいさつ程度)
- ・家族形態
  - 妻, 子供(小学生)
- ・在留資格
  - 定住
- ・定住資格
  - 当面は日本で生活する予定



Aさん

〇〇地域

### (2) 生活課題の把握

○日常生活(使用言語と使用場面, 日本語でのやり取りが求められる場面, 日本語学習に割ける時間)

→ 勤務時間が長く, 自習時間を取ることは困難。職場の指示は基本的には日本語で, 時折通訳が来る。それ以外はポルトガル語で生活を行っている。

○生活面で課題として抱えていること

課題の種類	課題の内容
1. 切迫度の高いこと	職場で日本語で人間関係を作ること
2. 今できるようになりたいこと	病院での会話
3. できればできるようになりたいこと	行動範囲を広げ, 知り合い・友達を増やしたい
4. 今後できるようになりたいこと	仕事で使うより高度な日本語

### (3) 地域の資源の把握

- ・教室に使える場所
  - 地域の公民館
- ・指導者
  - 地域在住の日本語教師経験者
- ・協力者の有無
  - 母語が同じで日本在住が長い外国人
- ・協力機関の有無
  - 地域の公民館(場所の提供)
- ・多言語での情報の有無
  - 市役所で基本的な生活情報が多言語で提供されている。
- ・通訳が配置されている場面
  - 市役所の手続の場面のみ

## 2 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

### (1) 日本語教室の目的を設定する

→○○○ができるようになる

※具体的な学習者像を設定し、目的を設定する

### (2) 学習者のニーズ・地域の資源に基づいた教室の設置

①地域課題, 域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所, 日時等)

→公民館, 週末の午前中

②行政・関係機関との連絡調整

→地元の日本語学校で勤務する日本語教師の協力

※学習者個別にプログラム設置するのではなく、地域における外国人の状況、地域の資源を踏まえた上で日本語教室の目的や設置場所等について検討を行う。



## 3 地域の実情, 学習者の属性を踏まえた具体的な日本語教育プログラムの作成

できるようになりたいこと	標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例
1. 職場で日本語で人間関係を作ること	3102050 仕事上の公的な自己紹介をする 3101080 日常のあいさつをする...
2. 病院での会話	0102010 初診受付で手続をする 0103010 医者診察を受ける...
3. 行動範囲を広げ, 知り合い・友達を増やしたい	3101060 相手に合わせたあいさつをする 3501100 行事に参加する...

学習順序について、より切迫度の高いものから配列する



日本語での簡単なやり取りができるため、その地域について体験的に知る(※レベルや地域性について)

標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例	地域の実情・学習者の日本語のレベルに合わせて工夫する	言語事項／社会・文化的情報の工夫
3102050 仕事上の公的な自己紹介をする 3101080 日常のあいさつをする...	○職場の慣習, 地域の慣習に合わせた自己紹介をする ○日常のあいさつをする	地域で働いている人から自己紹介について聞くなどし, ロールプレイ等を行いながら, 必要な言語事項を取り扱う。自己紹介の仕方について話し合う。
0102010 初診受付で手続をする 0103010 医者診察を受ける...	○初診受付をロールプレイで体験する。 ○日本の病院について知る。	インターネットでの多言語問診票等を活用しながら初診受付・診察についてロールプレイを行う。また, 医療通訳等の情報の在りかについて知る。
3101060 相手に合わせたあいさつをする 3501100 行事に参加する...	○相手に合わせたあいさつをする ○行事に参加する	あいさつのバリエーションを体験する。実際に行事に参加し, その中で必要な言語事項を学ぶ。

## <具体的な日本語教育プログラム>

◆教室の目的: ○○○ができるようになる

◆教室の場所: 地域の公民館

◆指導者: 地域の日本語教育経験者

◆日時: 土曜日, 10時~12時

言語事項／社会・文化的情報の工夫	協力者	活動方法	教材
(1) 地域で働いている人から自己紹介について聞くなどし、ロールプレイ等を行いながら、必要な言語事項を取り扱う。	学習者と母語が同じ人の参加 (日本人の同僚)	ロールプレイ	
(2) インターネットでの多言語問診票等を活用しながら初診受付・診察についてロールプレイを行う。また、医療通訳等の情報の在りかについて知る。	学習者と母語が同じ人の参加	ロールプレイ	多言語での問診票
(3) 実際に行事に参加し、その中で必要な言語事項を学ぶ。	学習者と母語が同じ人の参加	実体験	行事を表す写真
(4)			
(5)			
(6)			
(7)			
(8)			
(9)			
(10)			
(11)			

言語事項／社会・文化的情報の工夫	協力者	活動方法	教材
(12)			
(13)			
(14)			
(15)			
(16)			
(17)			
(18)			
(19)			
(20)			

## 例2) 国際結婚のBさんの場合

### 1 域内の外国人の状況・ニーズ, 地域の資源等の把握

#### (1) 対象とする学習者の属性や数の把握

- ・レディネス(日本語学習をどの程度行っているか) →...
- ・漢字圏かどうか →...
- ・学習適性(過去の言語学習経験等) →...
- ・家族形態 →...
- ・在留資格 →...
- ・定住資格 →...



Bさん

〇〇地域

#### (2) 生活課題の把握

○日常生活(使用言語と使用場面, 日本語でのやり取りが求められる場面, 日本語学習に割ける時間)  
→...

○生活面で課題として抱えていること

課題の種類	課題の内容
1. 切迫度の高いこと	
2. 今できるようになりたいこと	
3. できればできるようになりたいこと	
4. 今後できるようになりたいこと	

#### (3) 地域の資源の把握

- ・教室に使える場所  
→...
- ・指導者  
→...
- ・協力者の有無  
→...
- ・協力機関の有無  
→...
- ・多言語での情報の有無  
→...
- ・通訳が配置されている場面  
→...

## 2 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

### (1) 日本語教室の目的を設定する

→○○○ができるようになる

※具体的な学習者像を設定し、目的を設定する

### (2) 学習者のニーズ・地域の資源に基づいた教室の設置

① 地域課題, 域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所, 日時等)

→...

② 行政・関係機関との連絡調整

→...

※学習者個別にプログラム設置するのではなく、地域における外国人の状況、地域の資源を踏まえた上で日本語教室の目的や設置場所等について検討を行う。



## 3 地域の実情, 学習者の属性を踏まえた具体的な日本語教育プログラムの作成

できるようになりたいこと	標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例
1.	...
2.	...
3.	...

学習順序について、より切迫度の高いものから配列する



(※地域の実情, 学習者に応じてどのような工夫を加えたか説明)

標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例	地域の実情・学習者の日本語のレベルに合わせて工夫する	言語事項／社会・文化的情報の工夫
...	...	...
...	...	...
...	...	...

## <具体的な日本語教育プログラム>

◆教室の目的:○○○ができるようになる

◆教室の場所:...

◆指導者:○○○

◆日時:○曜日, ○時~○時

言語事項／社会・文化的情報の工夫	協力者	活動方法	教材
(1)			
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			
(6)			
(7)			
(8)			
(9)			
(10)			
(11)			

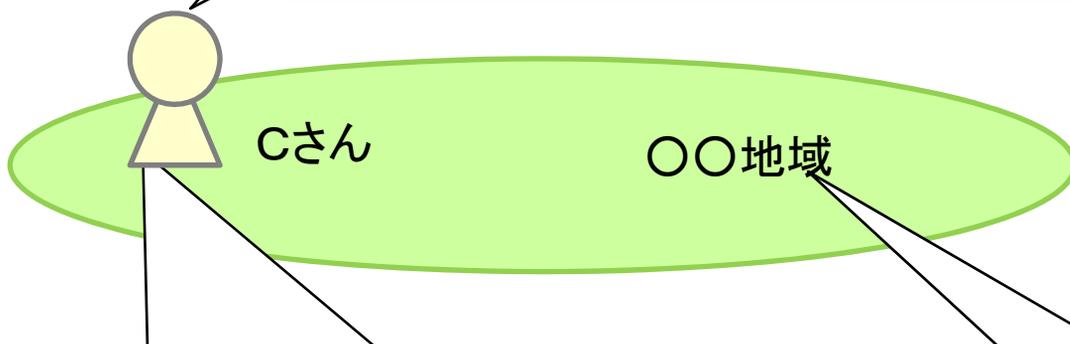
言語事項／社会・文化的情報の工夫	協力者	活動方法	教材
(12)			
(13)			
(14)			
(15)			
(16)			
(17)			
(18)			
(19)			
(20)			

# 例3) 技能実習生のCさんの場合

## 1 域内の外国人の状況・ニーズ、地域の資源等の把握

### (1) 対象とする学習者の属性や数の把握

- ・レディネス(日本語学習をどの程度行っているか) →...
- ・漢字圏かどうか →...
- ・学習適性(過去の言語学習経験等) →...
- ・家族形態 →...
- ・在留資格 →...
- ・定住資格 →...



### (2) 生活課題の把握

○日常生活(使用言語と使用場面、日本語でのやり取りが求められる場面、日本語学習に割ける時間)  
→...

○生活面で課題として抱えていること

課題の種類	課題の内容
1. 切迫度の高いこと	
2. 今できるようになりたいこと	
3. できればできるようになりたいこと	
4. 今後できるようになりたいこと	

### (3) 地域の資源の把握

- ・教室に使える場所  
→...
- ・指導者  
→...
- ・協力者の有無  
→...
- ・協力機関の有無  
→...
- ・多言語での情報の有無  
→...
- ・通訳が配置されている場面  
→...

## 2 日本語教室の目的や設置場所等についての検討

### (1) 日本語教室の目的を設定する

→○○○ができるようになる

※具体的な学習者像を設定し、目的を設定する

### (2) 学習者のニーズ・地域の資源に基づいた教室の設置

① 地域課題, 域内の外国人の状況に対応した日本語教室の設置(場所, 日時等)

→...

② 行政・関係機関との連絡調整

→...

※学習者個別にプログラム設置するのではなく、地域における外国人の状況、地域の資源を踏まえた上で日本語教室の目的や設置場所等について検討を行う。



## 3 地域の実情, 学習者の属性を踏まえた具体的な日本語教育プログラムの作成

できるようになりたいこと	標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例
1.	...
2.	...
3.	...

学習順序について、より切迫度の高いものから配列する



(※地域の実情, 学習者に応じてどのような工夫を加えたか説明)

標準的なカリキュラム案における生活上の行為の事例	地域の実情・学習者の日本語のレベルに合わせて工夫する	言語事項／社会・文化的情報の工夫
...	...	...
...	...	...
...	...	...

## <具体的な日本語教育プログラム>

◆教室の目的:○○○ができるようになる

◆教室の場所:...

◆指導者:○○○

◆日時:○曜日, ○時~○時

言語事項／社会・文化的情報の工夫	協力者	活動方法	教材
(1)			
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			
(6)			
(7)			
(8)			
(9)			
(10)			
(11)			

言語事項／社会・文化的情報の工夫	協力者	活動方法	教材
(12)			
(13)			
(14)			
(15)			
(16)			
(17)			
(18)			
(19)			
(20)			